

2. 大学院実践教育科目

全専攻共通

授業科目名	単位数	開講学期		開講課程		
		前学期	後学期	前期課程	後期課程	
大学院輪講	大学院輪講第一 (I)	1	○		◎	
	大学院輪講第一 (II)	1		○	◎	
	大学院輪講第一 (III)	1	○		◎	
	大学院輪講第一 (IV)	1		○	◎	
	大学院輪講第二	4	○	○		◎
大学院技術英語	2	○		◎		
大学院産学連携科目	ベンチャービジネス特論	2	○		○	○
	知的財産権特論	2		○	○	○
	先端技術開発特論	2		○	○	○
	ETL(Elementary Teaching Laboratory)	2	○	○	○	○
	大学院国際プロジェクト	2	○		○	
	危機・限界体験特別実験	2	○	○	○	
	国際科学技術コミュニケーション論	2	○		○	
	経営実践特論	1	○		○	○
	I T最前線	2		○	○	○
	実システム創造	2		○	○	
	データサイエンティスト特論	2		○	○	○
	データアントレプレナー実践論	2		○	○	○
	オープンイノベーションスクールⅠ	1	○	(○)	○	
	オープンイノベーションスクールⅡ	1	○	(○)	○	
	オープンイノベーションスクールⅢ	1	○	(○)		○
	オープンイノベーションスクールⅣ	1	○	(○)		○
	オープンイノベーションスクールⅤ	1	○	(○)		○
	大学院インターンシップ	2	○		○	○
	大学院インターンシップ (海外)	2	○		○	○
	大学院インターンシップ (長期)	4	○		○	○
大学院インターンシップ (海外・長期)	4	○		○	○	
大学院海外語学研修Ⅰ	1	○	(○)	○	○	
大学院海外語学研修Ⅱ	2	○	(○)	○	○	

注1：開講課程欄の◎は必修、○は選択を表す。

注2：「大学院輪講第二」は120時間の学修に対して修了年次に4単位を与える。

注3：「ETL(Elementary Teaching Laboratory)」は2年間で60時間の学修に対して2単位を与える。

注4：「危機・限界体験特別実験」は1年間で講義15時間、実験30時間の学修に対して2単位を与える。

- 注5：基盤理工学専攻基盤理工学オープンイノベーションプログラムの学生は、大学院産学連携科目の区分の授業科目「オープンイノベーションスクールⅠ～Ⅴ」を必ず2単位以上修得すること。
- 注6：「オープンイノベーションスクールⅠ～Ⅴ」「大学院海外語学研修Ⅰ・Ⅱ」は、通年開講ではなく、前学期又は後学期の半期ごとの開講である。
- 注7：「インターンシップ」は1年次に履修することが望ましい。